



暖冬か?とと思っていましたが、真冬の寒さがやってきました
今年も残すところあとわずか、体調にお気を付けてお過ごしください

ご報告 その1 12月28日まで区役所本庁舎内にサステナブル・ツリーを展示しています

昨年は、京橋の環境情報センターで展示しましたが、
今年には区役所本庁舎 1 階の会計室前で展示しています。

モミの木は、中央区の森の保全活動をしている里山再生塾さんが伐り出してくださり、飾り付けは中央区森の応援団を中心に有志が行いました。

街に飾られるツリーは“クリスマス”のためですが、
私たちは“持続可能な地球環境”に関心を持ってもらうためのツールの一つと捉えています。

そのため、ネーミングはサステナブル・ツリーとし、
オーナメントも電飾は使わず、折り紙とリボンにしました。平和を願う鶴、来年の干支のウサギで飾られたツリーは、**12月28日まで展示しています。**

お近くにお越しの際は是非ご覧ください。



ご報告 その2 中央区の森作業道整備作業体験ツアーを行いました

◇日 時：2022年12月3日（土）

今年度の森林保全作業体験ツアーは、中央区の森(数馬地区)にて森林作業道の整備作業を体験しました。

森の保全活動というと、間伐・植栽・下草刈りなどが思い浮かびますが、これらの作業を行うためには、まず、そのための作業道の整備と保全が大前提になってきます。

今回は炭焼き小屋の途中までの作業道の保全(ぬかるみや滑りやすいところに碎石を敷き詰める)作業を行いました。数量にして約7トンの碎石はNPO里山再生塾さんが小型運搬車で現場まで運んでくださり、我々は4班に別れシャベルでそれを敷き詰める作業でした。参加者20人で行ったので予定より早く終わり、その後炭焼き作業について里山再生塾の大久保理事長が細かく説明してくださいました。

終了後のお楽しみは、例年通りたき火を囲み鹿鍋を頂きました。

午後は、払沢の滝班と、来年度の体験ツアー実施予定地である中央区の森(本宿地区)を調査する班に分かれての行動でした。

今回の体験ツアーには、マンダリンホテル様やココア争奪戦の有志の皆様にご協力いただいたほか、「まちひととサイト」の取材をしていただきました。皆様有り難うございました。



作業説明



ヘルメット着用・スコップをもっていざ出発



整備作業



炭焼き小屋



焚火を囲んでの昼食



こんにゃくの井上食品様での社長よりの製法説明



本宿地区整備体験予定地視察

●編集後記●

今年もコロナは収束しませんでした。友人との再会、近場の旅行など、コロナに注意しながら少しずつ元通りの暮らしが戻ってきているようです。森の応援団も3年ぶりに総会をリアルで開催することができました。来年はどんな年になるでしょうか。皆さまにとって良いお年となりますよう祈念しております。